



平成20年4月7日

各 位

会 社 名 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
 代 表 者 取締役会長兼社長 谷 正明
 本社所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
 (コード番号 8354 東証第一部、大証第一部、福証)
 問 合 せ 先 執行役員経営企画部長 吉田 泰彦
 (TEL.092-723-2502)

平成20年3月期の「業績予想の修正」及び「配当予想の修正」に関するお知らせ

平成19年11月20日発表の平成20年3月期の業績予想及び1株当たり配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成20年3月期通期(平成19年4月2日～平成20年3月31日)連結業績予想

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	270,000	57,000	31,000
今回修正予想 (B)	276,500	32,500	2,500
増減額 (B) - (A)	6,500	24,500	28,500
増減率 (%)	2.4	43.0	91.9

(注) 当社は設立初年度のため、前年実績はございません。

(2) 業績予想の修正理由等

当社連結業績は、子銀行業績の下方修正により経常利益及び当期純利益が減少する見通しとなりました。

子銀行業績の下方修正の主因は、米国金融市場の混乱に端を発した株安や円高の進展、金利フラットニング等の外部環境変化の影響と今後に備えた引当強化の実施によるものです。

具体的には、国内金利フラットニング化・利上げ観測後退による資金利益の計画比下ぶれ、株式市場の低迷による資産運用商品の販売額減少、金融資本市場の低迷による保有有価証券の減損額の増加、及び景気動向や業界の環境変化を勘案した保守的な引当強化などです。

なお、当社単体の業績予想につきましては変更ございません。

(注) 当社子銀行の業績見込みにつきましては、3頁以降をご参照ください。

(3) その他

平成20年3月期業績予想の修正及び経営環境の変化を踏まえ、本日、「第二次中期経営計画」の経営指標目標値の修正について」を公表いたしております。

2. 平成20年3月期の1株当たり配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社は、連結当期純利益の水準に応じた業績連動型の配当方式を導入しております。

今回の業績修正により当期純利益が250億円以下となったことから、配当予想を下表のとおり年間7円（期末2円50銭）に修正させていただくこととなります。

なお、第一種優先株式の配当予想（年間14円（期末7円））につきましては、変更ございません。

本件につきましては、6月下旬開催予定の定時株主総会において、ご提案申し上げる予定です。

【配当方針】

連結当期純利益	1株当たり配当目安
～250億円以下	7円～
250億円～300億円以下	8円～
300億円～350億円以下	9円～
350億円～400億円以下	10円～
400億円～450億円以下	11円～
450億円～	12円～

(2) 修正の内容

	中間期	期 末	年 間
前回発表予想 (平成19年11月20日)	4円50銭	4円50銭	9円00銭
今回修正予想	4円50銭	2円50銭	7円00銭
当期実績	4円50銭		

(注) 当社は設立初年度のため、前年実績はありません。

3. ご参考 子銀行の業績見込み

(1)福岡銀行

ア【単 体】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
経常収益	201,000	211,500	10,500
経常利益	40,000	29,400	10,600
当期純利益	23,000	15,400	7,600
コア業務純益	62,500	58,100	4,400
信用コスト	3,000	9,200	6,200

イ【連 結】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
経常収益	206,000	216,700	10,700
経常利益	41,500	31,800	9,700
当期純利益	24,000	15,500	8,500

* 福岡銀行単体・連結の業績修正理由

コア業務純益の減少は、国内金利フラットニング化による資金利益の減少、株式市場の低迷による資産運用商品の販売額減少などを主因としております。

経常利益及び当期純利益の減少は、コア業務純益の減少に加え、金融資本市場の低迷による保有有価証券の減損処理、景気動向や業界の環境変化を勘案した保守的な引当強化などを主因としております。

(2)熊本ファミリー銀行

ア【単 体】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
経常収益	36,000	35,100	900
経常利益	1,500	9,700	11,200
当期純利益	500	15,700	16,200
コア業務純益	8,100	8,200	100
信用コスト	5,000	13,600	8,600

イ【連 結】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)
経常収益	37,000	35,100	1,900
経常利益	1,500	9,900	11,400
当期純利益	500	15,900	16,400

* 熊本ファミリー銀行単体・連結の業績修正理由

経常利益の減少は、金融資本市場の低迷による保有有価証券の減損処理、景気動向や業界の環境変化を勘案した保守的な引当強化などを主因としております。

当期純利益の減少は、経常利益の減少に加え、財務体質の健全化を進めるために繰延税金資産の一部取り崩しを実施したことによるものです。

(3) 親和銀行

ア【単 体】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)		増減額 (B - A)
	平成19年度	平成19年度	うち下期	平成19年度
経常収益	55,000	55,400	28,300	400
経常利益	89,000	97,000	4,800	8,000
当期純利益	99,000	102,900	2,400	3,900
コア業務純益	12,800	12,300	6,200	500
信用コスト	97,000	96,800	2,700	200

イ【連 結】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)		増減額 (B - A)
	平成19年度	平成19年度	うち下期	平成19年度
経常収益	55,500	56,400	29,000	900
経常利益	89,000	95,600	4,100	6,600
当期純利益	99,000	102,500	2,100	3,500

(注) 当社の連結業績においては、親和銀行の下期損益のみが反映され、中間期までの損益は反映されません。

* 親和銀行単体・連結の業績修正理由

経常利益及び当期純利益の減少は、金融資本市場の低迷による保有有価証券の減損処理を主因とするものです。

信用コストについては、グループ他行と同様に保守的な引当強化を図りましたが、一方で不良債権処理の進展に伴い貸倒引当金の戻りも発生するため、全体では当初計画を下回る見込みです。

(4) ご参考

ア 子銀行が保有していた当社第二種優先株式及び普通株式の売却にかかる売却損181億円（福岡銀行180億円、熊本ファミリー銀行1億円）は、当社連結決算においては資本取引と見なされるため、当社連結業績には影響ありません。

イ 当社連結業績において、経常費用としてのれん償却61億円（熊本ファミリー銀行30億円、親和銀行31億円（半期分））を処理しております。

〔 本資料の業績予想は、平成20年4月7日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、これらの予想値と異なる可能性があります。 〕

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
ふくおかフィナンシャルグループ
経営企画部 財務G
電話 092-723-2502